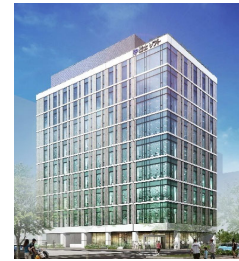


# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)富士ソフト新福岡ビル計画	階数	地上9F
建設地	福岡県福岡市博多区博多駅東3-22-2.3	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,200 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年7月 予定	評価の実施日	2022年11月15日
敷地面積	1,654 m <sup>2</sup>	作成者	西松建設株式会社一級建築士事務所 江口 保志
建築面積	1,014 m <sup>2</sup>	確認日	2022年11月15日
延床面積	8,651 m <sup>2</sup>	確認者	西松建設株式会社一級建築士事務所 江口 保志



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5** ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆☆☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.3

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b> 緑と開放性がある一階ピロティ空間により、歩道空間の拡張に寄与すると共に、通行者への「憩い」と「賑わい」の印象を与える。 単調になりやすい敷地境界の空地を草花・カラーリーフの計画により空地のイメージに多様性を持たせる。 建物に自然を似た外装計画をすることによりシークエンスの一部として馴染む外構・外装を計画する。	<b>その他</b> 特になし	
<b>Q1 室内環境</b> F☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用し、建物内は禁煙としている。	<b>Q2 サービス性能</b> 階高にゆとりを持たせた設計とし、事務室の天井高を確保している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> BPI <sub>m</sub> =0.84、BEI <sub>m</sub> =0.55としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> OAフロアやLGS下地を採用し、基礎部分に高炉セメントを採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出率66%とし、光害抑制に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される